

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公開番号】特開2012-199749(P2012-199749A)

【公開日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2012-042

【出願番号】特願2011-62134(P2011-62134)

【国際特許分類】

H 04 B 1/40 (2006.01)

H 04 L 7/00 (2006.01)

【F I】

H 04 B 1/40

H 04 L 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所与のイベントを検出する第1のセンサーからの入力を処理するセンサー入力部と、無線通信部の動作を制御する通信制御部とを含み、前記通信制御部は、

前記第1のセンサーの出力に基づき通信タイミングを決定し、前記通信タイミングに基づいて、前記無線通信部に、前記所与のイベントを検出する第2のセンサーを備えた外部機器との通信を行わせる、回路装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記通信制御部は、

前記第1のセンサーの出力に基づき前記無線通信部に前記外部機器との前記通信を開始させ、前記通信を開始してから所定時間経過後に、タイマーの出力に基づき前記無線通信部に前記外部機器との通信を行わせる、回路装置。

【請求項3】

請求項1又は2において、

前記通信制御部は、

前記第1のセンサーの出力が所定回数の所定の条件を満たすと判断した場合に、前記無線通信部に前記外部機器との前記通信を行わせる、回路装置。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれかにおいて、

前記通信制御部は、

前記第1のセンサーの出力が所定の条件を満たすと判断してから所定時間経過後に、前記無線通信部に前記外部機器との前記通信を行わせる、回路装置。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれかにおいて、

前記第1のセンサーは、動き、光、音及び圧力の少なくとも1つを検出するセンサーである、回路装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の回路装置と、
前記第 1 のセンサーと、
前記無線通信部と、を含む通信機器。

【請求項 7】

請求項 6 において、
前記第 1 のセンサーは、動きを検出する慣性センサーであり、
前記回路装置は、

前記第 1 のセンサーの出力に基づき歩数を計測する処理を行い、計測結果を、前記第 1 のセンサーの出力に基づき決定した通信タイミングで前記無線通信部を介して前記外部機器に送信する処理を行う、通信機器。

【請求項 8】

互いに無線通信を行う第 1 の通信機器及び第 2 の通信機器を含む通信システムであって

、
前記第 1 の通信機器は、
前記第 2 の通信機器との間で無線通信を行う第 1 の無線通信部と、
所与のイベントを検出する第 1 のセンサーと、
前記第 1 のセンサーの出力に基づき第 1 の通信タイミングを決定し、前記第 1 の通信タイミングに基づいて、前記第 1 の無線通信部に前記第 2 の通信機器との通信を行わせる第 1 の回路装置とを備え、
前記第 2 の通信機器は、
前記第 1 の通信機器との間で無線通信を行う第 2 の無線通信部と、
前記所与のイベントを検出する第 2 のセンサーと、
前記第 2 のセンサーの出力に基づき第 2 の通信タイミングを決定し、前記第 2 の通信タイミングに基づいて、前記第 2 の無線通信部に前記第 1 の通信機器との通信を行わせる第 2 の回路装置とを備えた、通信システム。

【請求項 9】

請求項 8 において、
前記第 1 のセンサー及び前記第 2 のセンサーは、動きを検出する慣性センサーであり、
前記第 1 の通信機器及び第 2 の通信機器は、人体又は車体に装着される、通信システム
。

【請求項 10】

請求項 8 又は 9 において、
前記第 1 のセンサー及び前記第 2 のセンサーは、動きを検出する慣性センサーであり、
前記第 1 の回路装置は、
前記第 1 のセンサーの出力に基づき歩数を計測する処理を行い、計測結果を、前記第 1 のセンサーの出力に基づき決定した通信タイミングで前記第 1 の無線通信部を介して前記第 2 の通信機器に送信する処理を行い、
前記第 2 の回路装置は、
前記第 2 のセンサーの出力に基づき決定した通信タイミングで前記第 2 の無線通信部を介して前記計測結果を受信する処理を行う、通信システム。